

斗争ア  
ヒ  
ー  
ル

民主主義學生同盟

京大支部委員会

昨日の杖勲隊の京土侵入抗議の

國全東西で大衆民主的改進黨勝利をめぐりて斗争してゐる中で、  
認しななければならぬ。スヒライキも含む全  
の学友諸君。

全關西の愛国民主的の改革斗争を勝利的に展開してゐる部  
隊の総結集を京大に於いて行われようとしてゐる前日、政  
府独占はこれに抵抗隊導入をもつてたえた。この侵入は、  
ちとつていき、全大學生の斗争建帝の創出で政府独占の  
策動を粉碎しようではないか。

をはじめ、全學的に前進してゐる京大の民主的改進黨に  
 對する政府文部省の挑戦に便ならぬ。我々は、東大、日  
 大、立命大、關學大等に續く今回の京大への权力の直接介  
 入に對し、斷固たる抗議の声を政府独白につきつけられ  
 ばならぬ。

出校・社學同・共勞黨系學生（民學同偕稱）ホト口諸  
 派は全學封鎖→入試粉碎→帝大主義大學解体を狂

國政府独占の大学への新たな攻撃は、村田隊による直接介入と只に大学の反動的再編の策動である。即ち大学院大学構想による大学の格差づけ再編成、副学長制、教官に対する文相の解任権限の文部省の大学への直接統制化、以上のような超反動的内容をもった中教審答申と三頁五口下出、せ、大学の反動的再編成と一挙の全面的に断行しようとしている。我々は、一のそのような政府独占の攻撃を全面的な大衆的決起で撃退せねばならない。

図なし、一のやうな政府独占に對して、全國の各大學で  
 民主的改組を我々はなちとてゐる。政府独占の反対聯盟  
 編成をやらせなしための斗いは、同時に大學の民主的改組  
 を實現させていく斗いである。我々は、更に、「教授会自  
 治」では現在の政體に對して無力であること、従つて全大  
 學のやうな連帯、特に反レッド・ハーシ斗争、大憲法斗争

ス・ヒ・フイキも含む全南面の斗争連帯で実地上の最高決定権能を有する全受授試験の確立、学長・学部長・学生部長・学掌への学生参加、教授会・行政運営の民主化等を勝ちとつていき、全大學生の斗争連帯の創出で政府独占の策動を粉碎しようではないか。

■しかしながら、我々の大学の破壊的民主的改進黨斗争にとっての障害物的役割を果たす諸君が、我々の内部に存在している。

出校・社學同・共済會系學生（民學同體派）の口誦  
派は全學封鎖→入試粉碎→帝國主義大學解体と狂  
氣の如く叫んでゐる。我々は、彼らの「斗争」が何らの  
展望をもたないことを確認すると共に、專らには現在におけ  
る入試粉碎策力は、我々の斗争への敵対であり、我々隊  
導へ→大學の反動的再編成に對し絶好の口實となつて  
いることを断固糾弾しなければならぬ。我々は大衆的

決起せし口頭派の入試紛争策を阻止し、民主的改進黨勝利の美例の力で彼等の大學解体路線を粉碎していかねばならぬ。

一方、民黨の民主代斗争はその過程で口頭退治に転落してしまつてゐるし、その民主化は、詰し台口全學界要求に見られる如く不徹底なものとなつてゐる。我々は民青諸君と全面的民主的改進黨の前途を併呑しえず徹底的根柢を遠く彼方に押しやる曰和見主義として告発しつゝ、それにならぬ。

以上確言を述べた。本日（今日）の斗争の意義を明らかにしよう。本日（今日）の全関西學生義決起集會の意義は、先づ第一に昨日（昨日）の大入の林功隊侵入への抗議であり、次に政府独占の大学の反動的再編成の策を粉碎であり、次に學国の民主的改進黨と結びて、斗つ勢力の結集であり、や、四に入試紛争の大學解体の路線を阻止することである。

5-11

大集公

學生

↓

↓  
復元毛

下

7